



お ち ほ

第15号 昭和63年8月10日 発行 社会福祉法人 椎の木会 落穂寮 発行者 増田 正司

63年度を迎えて

落穂寮長 増田 正司



一学期もまもなく終り、二学期を迎えようとしています。寮の子どもたちと職員もどうやらおちついて毎日を送っています。

指導部の女子職員が5名入れかわり、4月の当初は子どもと先生の間柄がうまくからまない。毎日が緊張の連続でした。双方の信頼関係が少しずつ深まり、今は生活のリズムがスムーズに流れました。

四月一日現在の児童数は、三雲養護学校に通う(年齢18才未満)36名と年長(年齢18才以上最高31才)の42名です。

5月から、念願の「あかね寮」(八日市市にできた定員50名の精神薄弱者更生施設)に9名が移ります。57年に落穂寮が建設要望の声を挙げ、県が建設の方針を決定し寮にいたる間のいろいろが思い出され、感慨ひとしおです。

あかね寮の出発が、知恵おくれの人たちに対する対策を更に進めてくれることを願ってやみません。

近江学園から分家して生まれた落穂寮も38才になり、いわば働き盛りの年齢です。分別もついて四方見わたすこともできる。これから進む道はもっとと険しくなっていく。いろいろな抵抗と波風に向って前進するエネルギーを燃やそう。幸い若い世代の職員が中核になって寮の生活が仕組まれ、然に、計画に穴のあいたところを中堅の人たちが埋めてくれる。落穂寮の運営が児童を中心に考えられ、人が生かされる配慮のもとになされることをこれからも願っていきたくて考えています。



落穂寮

空から こんにちは

施設とは

副寮長 池谷 正晴

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

施設だからといって特別に変わった生活をしているわけではありません。世間一般と同じように毎日とは相変らずの生活を送っております。

春の陽気にさそわれては花見に遠足にと出かけ、夏は来れば海水浴キャンプだと意気込み、秋になれば運動会に旅行に精を出し、楽しいXマスと正月を迎え、雪の散らつく寒い冬となるとスキーだ耐寒マラソンだと走り続けて、梅の咲く頃には学習発表会を催して年間行事を終えるのです。四季折々の自然を通しての暮しのなかから何処でも行なっているような行事をしているのですが、知恵おくれの障害をもった人達が居住する施設の多くは、人里離れた辺地に在って大集団の生活を営んでいるものから、他の人々には近寄り難くなり、どうしても閉鎖的になるので施設は異様なものと映るのかも知れませんが、買物や食事等に外へ出かける時も何となく決

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

り切った風体で集団行動をとっていますので余計に変んな感じを与えてしまうのかも分りません。

「これでは駄目だ」と施設のオーブン化が叫ばれ、一方では施設見直しが講ぜられている昨今、直接処遇に従事している職員は、やはり施設の中味をよく知ってもらうために、出来るだけ外へ出かけて行っっては沢山の友達に語りかけ働きかけ、内に迎え入れては直接生活に参加してもらうことによって理解や交流を深めて、お互いごく普通の付き合いやふれ合いが出来るようにと努力しております。

さて、この一年を振り返ってみますと、職員にとっては大変でしたが多くの出来事と沢山の友達との出会いがありました。その人達は、どのような思いや感じをもたれたでしょうか。それぞれの立場から書かれたものを読んで頂いて有りのままの施設・落穂寮を感じとって頂ければ幸いです。

年間行事

- 四月 お花見
- 五月 開寮記念日、おまつり 子供の日
- 六月 バス遠足、短期帰省
- 七月 七夕まつり、臨海学舎
- 八月 夏期帰省、地藏盆
- 九月 お月見他
- 十月 親子合同運動会 修学旅行
- 十一月 社会見学旅行、秋期帰省
- 十二月 クリスマスパティー 冬期帰省
- 一〜二月 節分、マラソン大会等
- 三月 ひな祭り、学習発表会 春期帰省

◎その他、誕生会、水泳大会などがあります。

親の会会長として

おもうこと

会長 西井 晋

新緑の候、皆様には益々ご健勝の事とお慶び申し上げます。このたび親の会会長という大役をあづかることになり重大な責務を痛感いたしております。昭和四十五年五月以来、子供が落穂寮にお世和に成り親としての役目は何も出来ず、今日まで過ぎた様な気がしますが、思う事は年を重ねるごとに我が子の行く末です。年のせいか考えれば考えるほど寝むれぬ夜が続きます。どちらの親御さんも同じであります。子供を思わぬ親はいないと思います。

親は年老い、子供はどんどん大人へと成長してゆき、この先、幸福な生活を施設で過ごせる様に頑張らなければと、今日まで落穂寮に甘えてきた親として思っています。

これからは落穂寮親の会が、心を一つにして行かねばならない時期に來ています。なんとか親の元氣なうちにとあせるばかり、一人では何も出来ませんが、親達が力を合わせれば良い方向にすすむの



ではないでしょうか。
寮の先生方、親の会の皆様とよく話し合い子供たちのために頑張っ
ていきたいと思っています。
まずは略儀ながら私の挨拶とい
たします。

生活棟より

63年度のC棟として

C棟指導員 中嶋貴一郎

今年度も、C棟は、年長女子を中心とした子供達で構成した棟となりました。何名かの子供の入れ替えはありましたが、ほぼ昨年と



昭和63年5月 親・職員ソフトボール大会より C棟

同じメンバーであり、特に、20才以上が過半数をしめると云った状況です。

以上の様な状況をふまえてC棟では、近年、成人に対応した指導や生活づくりを心がけて来ましたが、最近、徐々にではあります、成人女子に対応できる指導なり、生活が組める様になって来ました。

今年度も、その点をふまえて、成人女子に対する指導、生活の継続、強化をはかっていく方針です。

まずその第一点として、健康管理の強化。年長女子の場合、かなりの女子達に肥満傾向にあり、それが個定化している状態であり、又、一部の者に、成人病に近い状態があらわれつつある。その点で健康面でのチェックが、より必要になって来ている。さらに、女子の場合、年長になるにつれて、動きが鈍化する状況にあり、体育的な指導により、バランスのとれた身体づくりをめざしたいと考えています。

第二点は、ゆとりある生活環境をつくりだしたいと考えています。年長児にとって、施設の生活は、しつくと云った生活指導の段階から、それぞれの子供にあった生活

スタイルやリズムの形成期に入っているといます。そう云った状況に対応した環境をつくり出すことにより、個々の子供達が、ゆとりある生活を送れる様にしていきたいと思っています。

以上の二点の方針をもとに、今年度C棟は、より生活感のある活動を展開していきたいと思っています。



A棟



B棟

昭和63年5月 親・職員ソフトボール大会より

ほくらにもお城を

B棟指導員 山下 陽一

つい先日のことです。小林君がふさぎ込んで寝床から起きようとしません。ゆすつてもさすつても動こうとしないのです。もちろん何もしゃべってくれません。「元気ないなー。どうしたんコーちゃん。」女の先生が時間をかけてやっと聞き出した所によると、次のようなことだったので。

小森君はテレビの絵本、「超時空戦士スピルバン」を大切に大切ににして、だれにもさわらせないよううに押し入れの奥にしまっておきました。その大切な「スピルバン」を山田君が発見して、新聞の折り込み広告と同じように破ってしまつたのです。それを見た小森君、最愛の彼女にふられたのと同じほどのショックを受け、朝ごはんものどに通らないほどのふさぎようです。山田君の担任の先生が「スピルバン」と同じ絵本を出版社まで電話して捜しましたがもうありませんでした。よく似た本をやっと見つけて彼に渡しました。小森君は前の本がよほど気に入っていたらしく、すっきり納得はしてくれ



昭和63年5月 氏神まつりより

ませんでした。が、なんとかもちなおしてくれました。
大勢の人達が同じ所に住んでいるものですから自分だけの場所を持つことがむづかしいのです。しかし寮生達もなんとか工夫してお城を作っているようです。あまり頑丈ではないために他人にすぐ侵入され喧嘩になります。自分の大切なものを守ることはどんな人にもある様子です。これを保障してやるわけにはどうしたらよいか、考えたいと思っています。

昭和63年度新任職員紹介



渡辺 恵子 保母



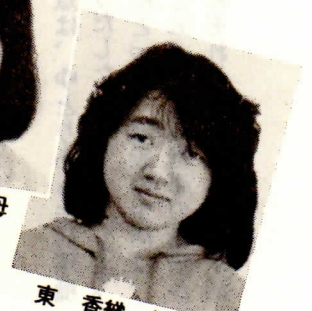
井上 夏 保母



寒河江智子 保母



福原 香 保母



東 香織 保母



昭和63年7月 滋児成協体育大会より

私はこの仕事にあたり、単にその子供の障害の部分だけに与らわれないで、もっといろいろな面での一人の人間として見つめていき付き合っていくことができたと思っています。そして、子供が受け身的にならずに、どんどん私にぶつかってきてくれて、それを私も負けず受け入れられる人間になれたらと思っています。これから一日を大切にしたいと思っています。

私はこの仕事にあたり、単にその子供の障害の部分だけに与らわれないで、もっといろいろな面での一人の人間として見つめていき付き合っていくことができたと思っています。そして、子供が受け身的にならずに、どんどん私にぶつかってきてくれて、それを私も負けず受け入れられる人間になれたらと思っています。これから一日を大切にしたいと思っています。

私は、大阪府出身で京都にある華頂短期大学を卒業して来ました。東香織です。全くわからない滋賀県での生活に不安を抱きながら、落穂寮に来て早三カ月になろうとしています。なんとか生活の流れも掴めてきたのですが、まだまだわからないことが多々あり毎日教えて頂くことばかりです。

落穂寮に勤めるにあたり
A棟 東 香織

毎朝、掃除、マラソンから一日が始まって、毎日同じ流れの中にたくさん子供達の顔を見えています。一日一日と子供達との距離が少しずつ近くなっている気がするのと同時に、自分の未熟さを痛感しています。自分をふり返り、子供達と一緒に頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願います。

私は広島県の出身で、京都の華頂短期大学に学び、こちらに來させて頂きました。短大に入学するまでこのような職業に就こうとは思ってもみませんでした。短大の二年間ボランティアサークルに所属していて、二年間の活動がこういった道を選びきかけになりました。

こちらは来て、三カ月が過ぎようとしています。この間いろいろな事がありすぎて、長い時間経ったような気がします。



昭和63年5月 氏神まつりより

A棟 福原 香



昭和63年5月
ソフトボール大会より

B棟 寒河江智子
落穂寮で子どもたちと一緒に生活を始めてからはやくも三カ月が過ぎようとしています。今は子どもたちの様子を観察し、又、棟においての自分の仕事、棟での一日の流れをつかむために追われていく感じが、一日があつという間に終ってしまいます。まだいろんな面において自分に余裕がないため、子どもたちと話をしたり遊んだりできず悩んでいます。でもあせっても何の得にもならないので、あせらず落ち着きをもって仕事をしたいと思っています。

私は京都生まれの山形育ちで、山形の高校卒業後京都の華頂短大にて「和顔愛語」をモットーに学んできました。この学訓をいつまでも忘れずがんばっていききたいと思っています。よろしく願います。



昭和63年5月 氏神まつりより

C棟 井上 夏
6月も半ばを過ぎ、落穂寮の生活にも少しづつではあるけれど、マイペースで慣れ始めています。

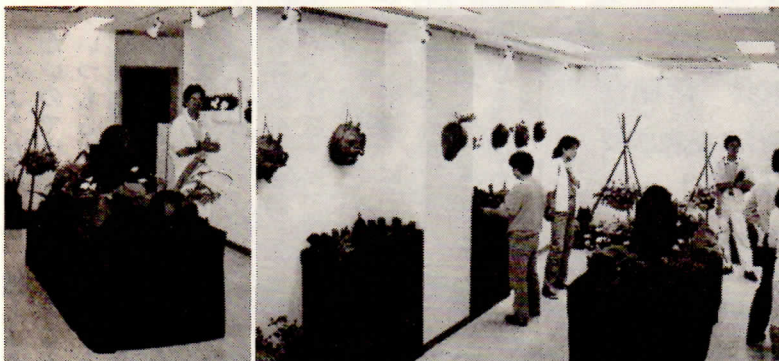
私の自己紹介ですが、私は、大阪の香里園で生まれ、京都府八幡市で今までを暮らしました。八幡市は、環境も良く、良い人々にも恵まれ、良い先生方にも恵まれ、幸せな子どもだったなと、思っています。性格は、人見知りですが、たく、のんびりしているけれど、たまに短気です。保母を希望したきっかけは、子ども好きはもちろんです。姉の影響もありました。姉は、奈良県の児童相談所に務めています。姉が、一時保護されてくる子どもの話を聞くと、私も子どもに對して何かしたい気持ちも強くなったからです。まず、一年目、気負わず、頑張ります。



昭和63年5月
ソフトボール大会より

C棟 渡辺 恵子
早いもので、私が落穂寮に、働かせていただくようになってから、三ヶ月が過ぎようとしています。働きはじめた頃は、まだ、つぼみだった桜も、今では、散りはじめています。けれど、私の故郷の新潟では、これからは、桜には、ちょうど良い季節ではないでしょうか。

私は、雪国、新潟から、やって来ました。新潟県の保育専門学院を卒業後、精神薄弱者施設で、2年間働いていました。生まれてから22年間、新潟県から一歩も出たことのなかった私ですが、精神薄弱施設で、じつくり腰を落ちつけて働きたいと思ひ、この春、思い切って滋賀県までやって来ました。まだ、何もわかりませんが、どうぞ、よろしく願います。

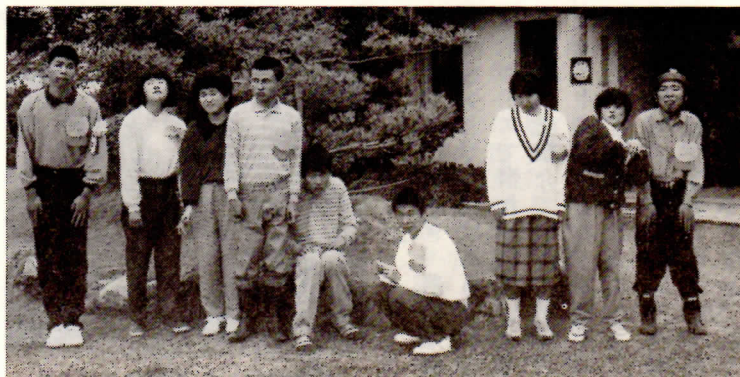


昭和63年6月 名古屋作品展より

名古屋作品展
昨年11月、名古屋ギャラリーハウスでの作品展に引き続き、今年度6月にも、同じ場所で粘土の作品展が開かれました。名古屋では第2回目ということで、テレビ・新聞などでもとりあげていただいたということもあって沢山の方々に来ていただきました。



落穂寮から
あかね寮へ
(退寮式)



落穂寮玄関前にて

退寮おめでとうーというのでも何か妙な感じがしますが、今年度5月に開寮した、八日市の成人施設「あかね寮」への措置変更で落穂寮から9名の人たちが移りました。それぞれ地域の施設へ帰ることになった人たちです。これからは「あかね寮」での新しい生活がはじまり、「頑張って下さい」という意味も含めて、おめでとう／と書いてあります。

泉

▼昭和62年度は(財)日本船舶振興会より

助成金をいただいて各児童棟、体育館、食堂棟、管理棟の屋根の補修工事を実施することができました。関係の方々には厚くお礼申し上げます。

寮内の建物それぞれ18年がすぎ老朽化しており、これから先もしばらくの間は、補修等が続くと思います。

▼従前より

椎の木会会員募集ならびに会費を集めていただいている皆様には、紙面ではありますが、心より厚くお礼申し上げます。

椎の木会の会員さん、甲賀郡内を中心になん年々増えてきております。

今後とも、どうぞよろしくご支援の程お願い申し上げます。

▼4年程前から、京都の方より匿名で毎月、寄付金をいただいています。又、2年程前よりは岐阜の方からもいただいています。

どのような方々か、捜しようもないのですが、落穂寮のことをいつも心にかけて下さる方の表われたと思いい、有難く頂き、子供たちのために使いたいと考えております。

▼各社会福祉協議会を通じて、あるいは個々に、いろいろなものを「寄付(贈)」いただいております。紙面ではありますが改めて、厚くお礼申し上げます。後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

社会福祉法人 椎の木会 落穂寮

〒520-31 滋賀県甲賀郡石部町大字東寺217の2
電話番号 0748-77-2299

定員 80名 現員 70名
職員数 33名
敷地(県有地借用)約21,000㎡
建物 児童居住棟他 16棟